

もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/

1
睦月

NO 306 / 2023

あけまして
おめでとう
ございます

contents

- ★新年あいさつ：山本理事長
..... 2
- ★1月例会案内：「恵下山」
恵下山公園整備
1月22日(日)：《担当3班》
..... 3
- ★部会報告
クラフト部会：佐藤
里山部会：岩田
..... 4
- 環境教育研究部会：佐々木
- ★今月のひと枝：ヤマモモ
..... 5
- 《森づくり啓発シリーズ》
- ★森づくり県民税 PR：山本
- ★「高南小」森づくり授業：本廣
..... 6
- ★「狐原山」有志草刈り：見勢井
- ★チャレンジ体験スクール：山本
- ★ひろしまドイツクリスマスマーケット
..... 7
- ★1月・各部の活動予定他
・市民と市政倶楽部掲載
・お知らせ「干潟 de とんど」
..... 8



ピョンピョン飛躍の一年に！ クラフト部会製作：干支シリーズ「うさぎ」



私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



謹賀新年

と べ 飛翔！メインストリーム

理事長 山本恵由美

新年を迎えられる喜びは歳を重ねるごとに大きくなってゆきます。多くの人に支えていただき、ここまでこられたと感謝が込み上げてきます。同じく、「森は私たちの宝物 未来に残したい 伝えたい」と思わせてくれる『森』に関わる人生を送れることは今や至福の喜びに。

1 1997年に発足して25年、振り返れば「森づくりの先導的な役割を担う存在」でありたいと、森づくりに力を注ぐ地域団体等を応援する定例会の位置づけや、多様な部会の創設、青少年への環境教育など、次々と時代のニーズに応じて進んできました。小さな成果を着実に積み重ねてきたからこそ、広島県等の自治体の森づくり事業などに関わり「行政との協働」は徐々に増え、「企業の社会貢献事業」の一環で依頼も多く、森林教室等、イベントの企画提案から技術指導までを行い、高い評価をいただいています。これらのことは森林活動の実績から生み出される見識に対して大きな信用があればこそ、実現できていると思っています。

皆さんの力で、考え得る全エネルギーを注ぎ、進むべき道を開拓してきた成果が四半世紀を経てようやく実り、当初の「理想に向けて」から『理想の姿』に到達したと思っています。

2023年は癸卯（みずのと・う）。「^{みずのと}癸」は一つの物事が収まり、次の物事への移行をしていく段階。また「卯」は「茂」という時期であり、繁殖する、増えるという段階にあたります。その両方を備えた「癸卯」は、去年までに様々なことの区切りがつき、次へと向かっていく。そこに「成長や飛躍といった明るい世界が広がっていく」と解釈することができると思いました。新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。2023年は法人格の取得から10年の記念すべき年でもあります。

そこで3月に成果の区切りとして、お祝いの植樹を計画しています。サクラ属では1915年にオオシマザクラの種名が発表されて以来、およそ100年ぶりの新種の発見となった珍しい「クマノザクラ」を記念に植えましょう。

弊会はある分野で主流となる一群を指す『広島メインストリーム』。

皆さん！「森づくりの導き手」として、今後の新展開、活躍を大望しています！

案内



新春 1 月地域貢献例会



～ えげやま 恵下山公園整備 ～ 《担当：3班》

子ども達が楽しく遊べる安全で明るい公園に

◆日 時： 1月22日（第4日曜）9時～少雨決行

※雨天等荒天の時は翌週 1月29日を予備日とします。

※担当班のメンバー＆リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会 場：【恵下山公園】

※ 安佐北区落合三丁目、真亀三丁目

◆持参物： 山の道具・弁当・水筒《名札も忘れずに》

※温かな汁を用意します。お椀をご用意ください。

※ コロナ感染防止対策（マスク）も忘れずにご用意下さい。

◆申込み： 1月15日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ
電話かメールでご連絡下さい。

恵下山には「恵下山遺跡」や、「恵下山城跡」および「山手遺跡群」があり、広島県の文化財に指定保存されています。また、子供たちの遊び場や近隣の小学校や幼稚園・保育園の遠足の場にもなっています。

もりメイト倶楽部と恵下山との関わりは 2004 年から。当時、『ふるさと恵下山まもり隊』の平井前代表が、里山整備のノウハウについて広島市の農林整備課に相談をされた際、もりメイト倶楽部を紹介されました。『自分たちの町は自分たちで守る！』という「ふるさと恵下山まもり隊」の姿勢に感銘を受け、森林整備の支援を行い地域貢献例会として今に至っています。一昨年には、長年の活動が認められ、名誉ある「ユネスコ奨励賞」を受賞されています。

～新年スタートの例会です。是非ご参加ください～(写真は遺跡の説明看板とこれまでの活動の様子から)



2月の例会は「楠那ふれあい樹林」にて竹林整備を行う予定です。詳細は2月の会報にて案内します

報告



12月クラフト部会

部会長 佐藤 謙治

12月のクラフト部会は、鹿ヶ谷の木々も冬支度が終わり見通しがよくなった分、木枯らし吹く中、干支の兎の製作、倉庫の屋根、周囲の落ち葉清掃、工具類の点検整備を行いました。10:00 時より広島市災害関連対策チームの職員の方が来現され鹿ヶ谷の砂防ダム工事が3月ぐらいより始まる説明を受けました。来年年初より作業場周囲の砂防ダム工事地区内の倉庫移動、立木の伐採作業に取り掛かります。クラブ活動に支障があると予想され臨機応変に対応したいと思います。その後大掃除を行いささやかな食事と暖かい汁物を頂き納会としました。

《来年へ向けて》各部会・例会活動による間伐材・除伐材のリユース材（製作材）が少なりつつあり将来クラフト活動に制約が出ると危惧しております。もりメイト倶楽部活動の活性化によりSDGsを目指し森資源の活用へ取り組み、製作材の確保が必要です。もりメイト倶楽部員皆様の協働活動お願い致します。



干支のウサギ製作



温かな汁物でささやかな納会



干支のウサギと一緒にトトロも参加

報告



里山部会

～11日：小川フィールドにて～

部会長 岩田 幸信



山根さん(中央右)と共にとき火を囲む。～小川フィールドにて～

今年最後の里山部会は20名の参加がありました。12月の里山部会の参加人数が多いのは恒例の納会が行われるからだと思いますが、実は今回、広島県森づくり県民税のPR活動の取材で、小川フィールドにアンガールの山根さんが来られたからでもあります。

この日は、番組収録のため音出しの制限があったため、落葉を集めて堆肥場に運ぶ作業と、ミニ門松の部材集め、ミニ門松作製に分かれて作業を行いました。

お楽しみの昼食は、見勢井顧問提供イノシシ肉を使ったシシ汁、北田さんがピザ生地から作ったアップルピザと私提供のノンアルコールビール。乾杯する前に、もういただいている人がいたようですが、これも里山部会な

らではのアットホームな場面と思います。

当日は、修道大の学生石川君が参加。彼は福山の自宅から新幹線の始発に乗って芸備線に乗り換え、それでも9時の部会には間に合いそうもないため、友達の家に泊り、前乗りでの参加でした。朝礼では、「力仕事はボクに任せて下さい」と、威勢のいい言葉を頂き、その言葉通り遺憾なく力を発揮して頂きました。また我々とは違い行動も速い！

午後からは、午前中の作業の後片付けとミニ門松作製。個人の感性豊かなミニ門松が出来上がりました。終礼では石川君から、「このようなボランティア活動に初めて参加しましたが、色々な事を教えて頂き、チェーンソーの始動もやらせて頂き、色々な人と出会えて大変ためになりました」と感想を下さいました。最後に明野さんから白菜を頂き解散となりました。おつかれさまでした！



ミニ門松



ローワークを教わる石川さん(右)

《来年へ向けて》地域貢献活動を行い、また、倶楽部員の更なるスキルアップが出来る場所作りを目指していきたいと思っています。皆様のご協力に感謝しながら2023年もよろしくお願い致します。



高所にロープを掛けるための準備

もりメイトキッズの松ヶ原フィールド(大竹市)には、立枯れしているコナラなど数本の支障木があります。今回は、さらなる安全のためと環境整備のため、そのままにしておけないと、有志を募り、これら支障木の伐倒作業を行いました。伐倒作業に当たってはいくつかの課題を抱えクリアするため、作業前に皆で十分に議論に議論を重ね全員で一致協力し、無事に作業を終える事ができました。今回、チェーンソーで作業されたお二人に伐倒時の状況や感想を伺いました。

●富田さんが感じた難しい点<立枯れのコナラの伐倒を担当>

1. 対象木が3mの道路を挟み

民家と隣接していて幹から伸び

る枝が道路側に張り出て重心が民家側にあった事。また、対象木の樹高が約13m~14mあり、伐倒方向には保護したい樹木もあるため、伐倒方向を確実に決めるために受け口を作り、追い口の入る際は細心の注意を払い確認しながら行った事。

2. 伐倒作業による振動で張り出た枯枝等の落下、飛散の危険があるため、退避場所の確保に特に注意を要した事。

3. 道路に面してる為、通行人、車両への安全確認が必要であった事→道路側に警備員を配置した。

4. 高い位置へロープを掛け、チルホールで引っ張るため、事前準備に時間を要した事。

●高杉さん<電線に掛かっている木の伐倒を担当>

電線に倒れ掛かるように10度位傾いていたので、チルホールで引っ張りながらの作業は引手とコミュニケーションをとり、慎重に追い口を入れていかなければならなかった点。

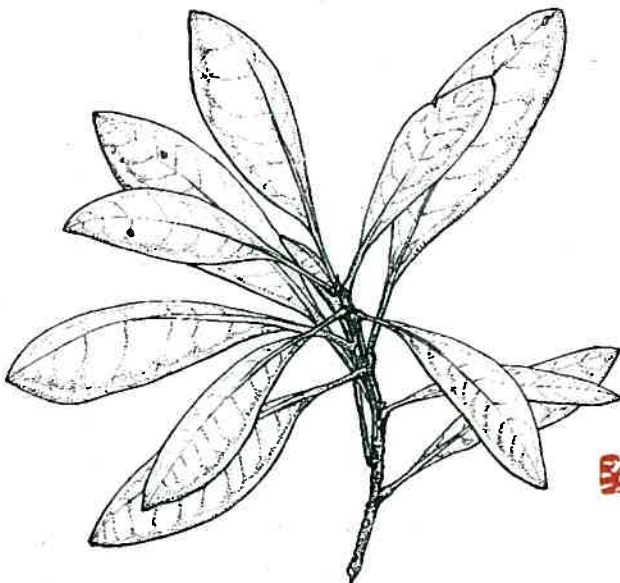
~ 今年度も多くの方々にご協力いただき感謝致します。なお、作業中にご近所の方が「この木、気になっていました。河平連山登山道の整備もありがとう」と声をかけて下さいました。地元の方からお礼のお声がかかったことは実に嬉しいことです!!~



慎重に追い口を入れる富田さん

《来年へ向けて》さらに松が原フィールドを魅力ある森にするため、そして次世代を担う子供たちが自然を好きになり、大切に思う心が育まれ、環境に関心を持ってもらえるような内容で事業を進められるようなプログラムを考案したいと思っております。引き続きご協力よろしくお願い致します。

山とひと枝 原田 澄



ヤマモモ (山桃)
<ヤマモモ科 ヤマモモ属>

関東南部から沖縄に自生する常緑高木。葉は、葉身5~12^{とうらんけい}の倒卵形で細長く、先の方にかけて幅広となり枝先に集まって付く。雌雄異株で花は3~4月、尾状花序(細い円筒状の花の集まり)をつけ、実は初夏、直径1.5~2^{びじょうかしよ}に赤く熟し美味。名は、山に生える桃から来ているが、モモとは別の種類。実はジャムや果実酒に、樹皮は染料や薬用として利用。街路樹や公園樹に用いられる。…▼山眠る季節、寒風のさ中、葉を空に向け生き生きと緑を湛^たえるヤマモモが目にとまった。▼ヤマモモは、古くから実や樹皮が利用され、暮らしの中に溶け込んでいたという。▼新たな年がスタートする。来る年もまた、木々や花々から元気や勇気をもらおうだろう。彼らのたくさんの「素敵」に心が動かされますように。

~安佐北区高陽町 2022・12~



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【森づくり啓発シリーズ】



もりメイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解して頂くため、方々で啓発活動の事業を展開し《森づくり啓発シリーズ》として「こんな事にも関わっています」とシリーズ化してお伝えしています。今回は、「広島県森づくり県民税 PR イベント」「高南小森の整備」「狐原山草刈り」「チャレンジ体験スクール」「ひろしまドイツクリスマスマーケット」をお伝えします。

「森づくり県民税」の PR 啓発事業に協力しています

理事長 山本恵由美



間伐体験をするアンガールズ山根さん。まずは受け口。



山根さんと語り合う山本理事長(小川フィールド)にて

弊会は5年前より「ひろしまの森づくり県民税」のPR事業に協力しています。森林整備の重要性を伝えるため、県民の体験の場所の選定と指導などを含めて企画を行ってきました。

今年は「山が荒れるとなにが困るのか←特に都市部の住民には見えづらい」「森づくり県民税がどのように活用されているのか、しっかりと伝えて欲しい」という広島県の意向が強く反映して番組制作に協力。番組では、PRキャラクターであるタレントのアンガールズの山根さんが出演し、実際にヒノキの間伐や製材など体験。更に活動を必要とする地域の方のインタビューは「スクウスクウの森」オーナー斯波様に素敵なコメントを頂戴しました。放送をお楽しみに！

LOVE GREEN RCC SDGs ラブ・グリーンプロジェクト

RCC*SDGs LOVE GREEN

＜放送日＞

◆1月3日(火) あさ6時15分～

◆タイトル: RCC SDGs ラブ・グリーンプロジェクト

◆テーマ: 森が教えてくれること～森とわたしたちのいい関係

※2023年3月末まではRCCのアプリ《IRA》で見逃し配信があります。

広島市立「高南小学校」～森づくり授業～ 総合学習にて間伐体験を指導

副理事長 本廣 良一

長年、里山部会などを通し白木町で活動する中、以前から望んでいたことは、地元の小学校とご縁を結ぶこと。

昨年は巣箱づくりに協力し、今年は校長先生のご尽力で念願がなつて森林整備体験に参加してもらうことが出来ました。

12月14日(水)小雪降る中、スクウスクウの森にて山本、見勢井、砂原、本廣4人が集合し現地打合せ、スローラインを上げて広島市立高南小学校4年生10名、教員2名の到着を待ち受ける。9時に小学生到着、暖房の効いた妙國寺本堂に入りオリエンテーションを開始する。山本理事長より人と森の関わりについて授業が始まった。

9時半、外に出て実践体験を開始。細く曲がったヒノキの状況、倒す方向、ノコを入れる箇所を説明したのち順番にノコを入れてゆく。小径木だが受け口の斜め切りは結構大変な様子、いよいよ追い口切りも終盤に差し掛かり生徒はロープ引きに移動して指導員の合図で引張ると予定通り倒れてゆく。次は切った丸太を平らな場所に移して玉切り体験。見勢井顧問よりヒノキの葉裏を観察しアルファベット文字らしきものが見える気孔(きこう)の説明を受け、ヒノキの香りフィトンチッドといわれる木の香りをかいてみた。各自ヒノキ丸太輪切りを手に持ち山を下り本堂にてふりかえり、11時30分終了となった。



朝のミーティングの様子

「狐原山(湯来町)：番外編」有志で草刈り

顧問 見勢井 誠



草刈りを終えて。左から松波勝子さん、井本さん、岩田さん、見勢井の各面々。

佐伯郡湯来町が広島市と合併したのが2005年4月25日。関係者が狐原山に合併記念のサクラなどの植樹を行うに当たり湯来町在住の友人から声がかかり、倶楽部員が植樹のお手伝いをしました。それがご縁で、毎夏に地域貢献例会として「狐原山」と関わっています。小川フィールドを開設した際の教訓として、1年に2～3回の笹刈り作業を2～3年続けられれば笹が撲滅することを、協働する「ふるさと湯来プロジェクト」の関係者には以前から伝えていましたが、夏以外の笹刈り作業を実施出来ない状況でした。2022年7月での例会時、松波さん(湯来在住：製材機を設置させて頂きお世話になっています)の奥さま「勝ちゃん」がナイロンカッターで刈払機作業をされているのを見て、これなら出来ると散

策路の草刈りを決定。11月30日に地元から勝ちゃん・井本さん、倶楽部から岩田さん・原田さん・見勢井の5名が集い草刈りを行いました。7月に作業をしていたお陰で、笹も簡単に切れ、意外と早く作業を終えることができました。次回は春先に2人が作業すれば1時間もあれば充分対応可能と、地元の活躍に期待して解散しました。

「NPO 法人広島市レクレーション協会」等が主催する 「チャレンジ体験スクール」 「森の体験プログラム」 に協力 理事長 山本恵由美

今年も『チャレンジ体験スクール2022(全9回)』の「森の体験プログラム」を受持ち、40人の子どもたちが三滝少年自然の家構内の暗い森の整備をしました。依頼者の奥田祐子さんとは旧知の仲。彼女はレクリエーションソンググループとして36年前に誕生した『ザ・わたしたち』

で作詞やボーカルの顔も持つ才女。子どもの育成を何より重要視する考え方に賛同して長年、協働しています。この事業は①困難をのりきる力 ②他人と助け合える力 ③自分で考え行動できる力で前向きに生きることが出来る力づくり。そのために自然・

社会・文化など様々なジャンルの活動を体験する総合的な企画を提供。創造力、表現力を育くみ、自分で目標や課題を設定して達成をめざすよう指導しています。スタッフは教員や公務員、大学生と顔ぶれは多彩。念入りな打合せに裏打ちされたシステムは見習いたい!



「嬉しいエピソード」

写真左のロボットは、今回の「チャレンジ体験スクール」で、木工クラフトを任された学生が考えた作品です。小学生の時に、もりメイト倶楽部が指導を行った「ロボットづくり」に参加。体験した時の感動や楽しかったことが基本となり、新たに生まれた発想。種まきができ次につながっていることが何より嬉しかったです。

～平和都市ひろしまの冬の風物詩をめざして～ アーバンビューランドタワーにて開催 「ひろしまドイツクリスマスマーケット」12月18日(日)

2015年からつづいている「クリスマスイベント」は、新型コロナの影響で、2年はWeb開催でしたが、3年ぶりに現地にて開催されました。もりメイト倶楽部はご縁があって当初より参加。シンボルのキリストの生誕の場面をあらわした「クリッペ」の外観は倶楽部の力作です。もりメイト倶楽部は今年も間伐材を利用した、来年の干支「うさぎ」、ヒノキの輪切りをベースにし「森のキャンドル」などの木工ワークショップで協力、賑わいを見せました。



ボランティア学生山田君(左)と佐々木さん クリッペと制作に携わった竹原顧問

ワークショップ担当本廣さん

素敵なキャンドル完成!



—1月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

～木工クラフト&干支の兎楽しみたい方お待ちします～

- 1月は7日・14日・28日の土曜日
山本町鹿ヶ谷基地で活動します。
21日(土)は例会前日の為休会とし
例会活動に励みましょう。
- 連絡先: 佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp



クラフト
部会

干潟 de とんど

- ★日時: 令和5年1月28日(土)
- ★9:30～12:00ごろ (雨天中止) 申し込み不要
- ★会場: 白潮公園 (白島九軒町神田橋南詰下流)
- ◆問合せ◆中央公民館【電話221-5943】



- 日時: 1月21日(土)
場所: 松ヶ原公民館にてクラフト指導
- 1月23日(月) 袋町プラザにて
来年度のキッズの打合せ
※今年も当日の料理、設営のスタッフを
募集します。ご協力宜しくお願いします。
- 連絡先: 佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

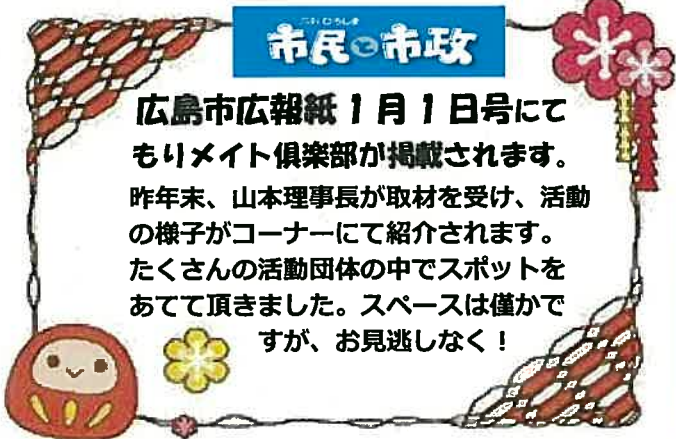
環研
部会

- 日時: 1月8日(日)9時～15時
- 場所: 小川フィールド
～安佐北区白木町中三田地区～
- 作業: 環境整備&鏡開き
～お餅があればご持参ください～
- 持参品: 水筒・小ぶりな弁当・山の道具
- 連絡先: 岩田 080-5751-3798

里山部会

市民の市政

広島市広報紙1月1日号にて
もりメイト倶楽部が掲載されます。
昨年末、山本理事長が取材を受け、活動
の様子をコーナーにて紹介されます。
たくさんの活動団体の中でスポットを
あてて頂きました。スペースは僅か
ですが、お見逃しなく!



- 【2月号】の会報発送作業は下記の通り実施します。
活動の日程を早くお知らせすることができるように、
発送を1週間早めております。ご協力下さい。
- 日時: 1月25日(水) 18:00～
- 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って
森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた
木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。
私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】 : 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】 : 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】 : 3,000 円
- 【企業会費】 : 50,000 円

お申込み方法

- 下記まで電話、又はメールで
- 【電話】 090-6419-7531
- 【Email】 info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

- 【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
- 【ゆうちょ銀行】 15170-18029291
- 《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》